# 日 本 図 書 館 情 報 学 会 会 報

No. 190　　2022 年 9 月



日本図書館情報学会事務局（編集：総務委員会）
〒252-0383　神奈川県相模原市南区文京 2-1-1
相模女子大学　金井喜一郎研究室内
（事務局業務に関する問合せ先）
(株)ガリレオ　学会業務情報化センター内　日本図書館情報学会
E-mail：office@jslis.jp　　学会ウェブページ：http://www.jslis.jp/
ゆうちょ銀行　口座番号＝00160-5-0045759　口座名義＝日本図書館情報学会
ゆうちょ銀行019店　口座番号＝当座0045759　口座名義＝日本図書館情報学会


## 2022 年度会員集会開催のお知らせ

会長 岸田 和明

2022 年度日本図書館情報学会会員集会を，下記のとおり，第 70 回研究大会の二日目に開催いたします。正会員ならびに学生会員のみなさまにおかれましては，多数ご出席いただきますよう，ご案内申し上げます。本会報には，2022 年度定例（通信）総会の投票に際して寄せられたご意見やご質問に対して，常任理事会としての考え方に基づいて回答しています。会員集会では，これらのご意見に基づく発展的な意見交換をしたいと存じます。また，今年度は現役員会の最終年度であることから，次期に引き継ぐためにも，定例（通信）総会の議案とは直接関係がない事項につきましても，会員のみなさまのお考えをお示しいただきたいと念じています。よろしく，お願い申し上げます。

記

日 時：2022 年 10 月 30 日（日）13:05～14:05
会 場：東北学院大学 ホーイ記念館 3 階 H301 教室
次 第：
1．会勢報告
2．2022 年度定例（通信）総会の議案投票結果報告
3．委員会等報告
4．意見交換，質疑
5．その他

2022 年度学会賞等授賞式

会員集会の開始前の 13 時 5 分より，同会場において 2022 年度学会賞・論文賞・奨励賞の選考結果を発表し，授賞式を行います。ならびに，学会活動に貢献された方への感謝状の贈呈を行います。ご臨席いただきますよう，お願いいたします。

# 2022年度定例(通信)総会の投票結果

有権者数　602（2022年6月1日現在）
投票総数　230　（内訳：郵送投票0，電子投票230）
有効投票数　230
有効投票率　38.20%（参考：2020年度37.42%）
無効投票数　0

第一号議案　2021年度事業報告・事業監査報告
第二号議案　2021年度決算報告・会計監査報告
第三号議案　2022年度事業計画案
第四号議案　2022年度予算案

電子投票

| | 第一号議案 | 第二号議案 | 第三号議案 | 第四号議案 |
|---|---|---|---|---|
| 賛 | 230 | 230 | 230 | 230 |
| 反 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 白票 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 無効票 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 合計 | 230 | 230 | 230 | 230 |

郵送投票

| | 第一号議案 | 第二号議案 | 第三号議案 | 第四号議案 |
|---|---|---|---|---|
| 賛 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 反 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 白票 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 無効票 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 合計 | 0 | 0 | 0 | 0 |

日本図書館情報学会規約第11条第1項(正会員の5分の1以上:121)により総会は成立しました。第一号議案から第四号議案については，第11条2項(出席正会員の過半数: 116)により，承認されました。よって，全議案は成立しました。

正会員から寄せられたご意見など（回答は常任理事会による）

1. 図書館情報学の現状と将来に関して，憂慮しています。国内の閉塞状況ばかりでなく，海外の図書館情報学研究との乖離，そして図書館情報学自体の成立基盤の希薄化といったことに気付いて

いる方もいるはずです。まだ，人や繰り越し金に余裕のある間に，学会として現状の分析と，今後の可能性についての研究事業を行ってほしいと思います。

- 難しい問題提起であり，安直にご回答すべきものではないと考えます。なお，常任理事会では，会員の知識やスキルを向上させて学会活動の活性化を図るというねらいで，2022 年 3 月に「オンライン・チュートリアルセミナー」を実施しました。

2. １． 第一号議案　１．運営事業　・会員数　　会員数は，学会活動の基盤ですから，議案の最初に会員数（最近数年間の変化）を記載し，会員に公表するべきだと思います。日本図書館協会では公開されている「運営報告」に 6 年分を記載しています。本学会では，おそらく理事会資料に記載してあり，理事・監事は確認していますが，議案には「会員数」としては記載していないのだと思われます。なお，第四号議案の「予算案」の「会費」の項目から，現会員数を知ることはできますが，不十分です。会員数の停滞あるいは減少傾向が続く場合には，会長の意見も必要になると思います。

- 会員数の記載については今年度検討し，来年度の常任理事会に引き継ぎます。

3. ２． 第三号議案　　１．運営事業　　「(14) 研究集会発表論文集の総目次作成　過年度の研究集会（春季研究集会および研究大会）の発表論文集の総目次を電子化（PDF 化）し，学会ホームページ上で公開する」ことが決まったことは大変結構です。ただし，「発表要綱および発表論文集（冊子体）」ではないかと思います。「発表要綱」を含めないと，意味がないと思います。これによって，学会誌に論文として掲載されない多くの研究が知られる機会が増え，学会の研究活動の生産性向上に寄与します。このような，あまり労力をかけなくても，効果のある，「カイゼン」すべき事項があると思いますので，配慮をお願いします。

- まずは総目次を公開し，本文はインターネット上での許諾が得られているものについては，公開の検討を進めていきたいと考えています。

4. 『図書館情報学事典』編集委員会，おつかれさまです。支出が予算を超えたのは見込み違いだったということでしょうか？

- 当初の見込みよりも，会合の回数が多かったため支出超過となりました。

5. 監査からの意見にもあった通り，事務の委託については，その費用に見合うものと言えるか，金井先生ほか総務委員会の負担軽減にどれだけ寄与しているか，検証が必要かもしれない。その他，会報掲載の監査からの意見（田村先生・山本先生）に対し，常任理事会や総務委員会などとしてどう考えるか，可能な範囲で会報にて「返信」の掲載をお願いできればと思う。

- 事務委託に関しては実施後を精査し，場合によっては見直しもあり得えると考えています。さらに委託可能な業務についての検討も同時に進め，次年度の常任理事会に引き継ぎます。なお，監査の先生方からのご意見に対する会長私見については，この会報に掲載しました。

6. 提案ですが，学部生の卒論発表会を開催してもよいのではないでしょうか。学会でも稀に学部生の発表が見られますが，開催時期が卒業研究の作成時期と合わないことが多いと思います。
他分野では民俗学系の学会で３月ごろにオンラインで実施しているケースを知りました。　　大学院進学は視野にないが，それなりのレベルに達している研究も散見されます。発表会をきっかけに大学院進学の呼び水になるかもしれません。発表会ではありませんが，優秀な卒業研究を表彰している学会もあるようです。学部生に学術研究の世界に関心をもってもらう施策も考えてもいいのではないでしょうか。専門課程をもつ大学では独自にできますが，専門課程を持たない大学や地方の大学では同じ分野の卒業研究を聞く機会はありません。以上提案です。

- 研究委員会にて検討いたします。

7. 会計処理の簡素化について，アウトソースしている業者等から，提案を受けて検討してみてもよいのではないでしょうか。
   - 2021 年度の事業計画の一部として「会計業務等の一部委託についても検討」しましたが，会計業務を委託すると，事務局（事務局長）として会計処理を正確に把握することができなくなると判断し，委託は見送りました。ただし，継続的な検討は必要なので，次期への引き継ぎ事項にしたいと思います。
8. 現状，学会誌の J-STAGE 上での提供は，非会員にはエンバーゴが設けられていますが，APC を払うことで最新のものもオープンアクセスで閲覧できる仕組みを検討してはいかがでしょうか。
   - APC の導入には賛否両論あるかと予想します。他学会の動向も視野に入れて，慎重な検討が必要かと考えます。
9. 大会及び研究集会のオンライン開催についても適時検討ください。
   - 対面とオンラインのハイブリッド形式については会場校や担当者に大きな負担をかけることが経験的にわかりました。そのため現状では毎回の実施は難しいかもしれませんが，オンラインのメリットを生かす方向での検討は重要だと考えています。

その他，事務局または常任理事会への激励が 8 件，投票のご報告が 1 件ありました。

## 監査報告「事業および会計に関する意見」について

会長　岸田和明

2021 年度の学会活動に関する監査報告としての「事業および会計に関する意見」につきましては，『会報』No. 189 にてご覧いただいたところですが，今回の定例通信総会の際に，監事からのご意見に対してどのように考えるのかという質問が寄せられました。

まず会計の繰越金が多額となっていることにつきましては，会費の一部免除などのいくつかの特別事業を設定して，支出を進めています。この多額の繰越金の一因は，コロナ禍による学会活動の一時的な停滞や，ウェブ会議の利用による諸経費の削減によるものですが，2021 年度につきましては，実収入約 720 万円に対して実際の支出が約 702 万円となっており，単年度会計としてのバランスは次第に整いつつあります。監事のご意見にある「学会活動と予算規模が見合ったもの」になるよう留意しつつ，貴重な会費の積み重ねである繰越金を大切に使っていくことを常任理事会では確認しています。

学会事務局の負担軽減につきましては，監事の方が詳しく説明されているとおり，金井事務局長が日々の業務の中でさまざまな工夫を加えられているところです。金井氏はこれまでのご経験から，常任理事会の中では最もこの種の取り組みに精通しています。業務内容の重要度に基づくコストパフォーマンスを十分に勘案して，現時点での最適解を求めていただけるものと考えています。

常任理事会では話し合ってはいませんが，監事が言及されている「近い将来のイメージ」も非常に大切です。図書館情報学を取り巻く環境の変化は激しく，海外を含めた動向を十分に確認できていなかった際に「浦島太郎」の気分になることがよくあります。そのような環境の変化の中で，日本の図書館情

報学に何ができるのか，何に貢献できるのかという視点から研究活動に取り組んでいく必要があるのではないかと，あくまで個人的な考えではありますが，思っている次第です。

## 役員会等の記録

2022 年度第 2 回常任理事会（開催記録）

日時：2022 年 7 月 10 日（日）13:00～14:10
場所：Zoom によるオンライン会議
出席者：岸田，三浦，青柳，安形，浅石，今井（記録），金井
欠席者：なし

1. 定例（通信）総会結果の確認
2. 各委員会等に関する報告・協議事項
3. 今後の活動

2022 年度第 3 回常任理事会（開催記録）

日時：2022 年 9 月 11 日（日）13:00～14:20
場所：Zoom によるオンライン会議
出席者：岸田，三浦，青柳，安形，浅石，今井（記録），金井
欠席者：なし

1. 各委員会等に関する報告・協議事項
2. 2022 年度会員集会の次第整理
3. 2022 年度第 2 回理事会の議題整理
4. その他

## 委員会・事務局より

『図書館情報学事典』について

2022 年 8 月末日時点で，ほぼすべての項目の入稿が完了しました。関係の皆さま，ありがとうございました。丸善出版において，10 の部門別に初校出しの作業を進めております。秋から順次，校正作業となります。執筆いただいた皆さま，よろしくお願いいたします。

また，索引と校閲を行う作業チームを組織し，用語を中心として内容の点検も行ってまいります。チームのメンバーは，編集委員会の根本彰，塩崎亮，橋詰秋子の 3 名と宮田洋輔理事（慶應義塾大学）です。

（『図書館情報学事典』編集委員会）

『日本図書館情報学会誌』投稿募集

『日本図書館情報学会誌』の投稿先は以下のとおりです。投稿は随時，受け付けています。投稿に際しては「投稿規程」，「執筆要綱」，「『日本図書館情報学会誌』掲載原稿および審査に関するルール」をご

参照ください。

（編集委員会）

- 投稿先：日本図書館情報学会編集委員会（journal@jslis.jp）
- 『日本図書館情報学会誌』投稿規程 2021 年 4 月 1 日改訂
  https://jslis.jp/wp-content/uploads/2021/01/tokokitei20210401.pdf
- 『日本図書館情報学会誌』執筆要綱 2016 年 10 月 8 日改訂
  http://jslis.jp/wp-content/uploads/2018/01/w_out_161008.pdf
- 『日本図書館情報学会誌』掲載原稿および審査に関するルール 2021 年 4 月 1 日改訂
  https://jslis.jp/wp-content/uploads/2021/01/rule20210401.pdf
- 日本図書館情報学会査読綱領 2021 年 4 月 1 日改訂
  https://jslis.jp/wp-content/uploads/2021/03/sadoku20210401.pdf

視覚障碍者への学会誌 PDF 版の提供について

視覚障碍者の会員の方に『日本図書館情報学会誌』の PDF 版データを提供いたします。ご希望の方は，事務局（office@jslis.jp）までメールでご連絡ください。お心当たりの方は，対象となる会員の方にお声かけいただければ幸いです。事務局より，障碍の程度をお伺いした上で，提供いたします。

（編集委員会）

J-STAGE 上での『図書館学会年報』の閲覧について

『日本図書館情報学会誌』第 45 巻以降に掲載された論文に加え，『図書館学会年報』の第 32 巻～第 44 巻に掲載された論文がオープンアクセスで利用可能になりました。研究等にご活用ください。また今後，さらに遡ってのオープンアクセス化を検討しています。

（編集委員会）

J-STAGE 上での『日本図書館情報学会誌』の閲覧方法について

発行後 1 年以内の『日本図書館情報学会誌』に掲載された論文を J-STAGE 上で閲覧するには，J-STAGE のウェブサイトにてサインインする必要があります。サインインあたっては，購読者番号とパスワードの入力が求められます。購読者番号は学会の会員番号（4 桁の数字）で，パスワードは入会当初のパスワードになります。会員番号や入会当初のパスワードが不明の場合には，事務局（office@jslis.jp）までお問い合わせください。

（事務局）

メールマガジンについて

総務委員会ではメールマガジンを随時，発行しています。掲載・講読希望の方は，総務委員会まで電子メール（somu@jslis.jp）にてご連絡ください。なお，掲載を希望する方は，PDF の添付ではなくメール本文に掲載内容を記してお送りください。

（総務委員会）

2022 年度の会費納入について

2022 年度の会費払込用紙は 6 月号の学会誌に封入されておりますので，そちらを利用して支払をお願いいたします。

未納会費の納入について

2021 年度の会費を未納の方はすみやかに納入してください。2020 年度までの会費を未納の場合は，2021 年度と合わせてできるだけ早く納入してください。なお，会費を 3 年滞納した会員（学生会員は 2 年）については，その年度末（3 月 31 日）に会員資格停止の手続きを行います。次年度から会員としての権利を失いますのでご注意ください。また，会費を 1 年滞納（当該年度末を超えて滞納）した場合は，機関誌の配付を一時停止します。

そのほか，学生会員で 2022 年 4 月以降に所属が変わり正会員へ変更となる方については，判明後，すみやかに会員種別の変更手続きを行なってください。会費の金額が 2,000 円から 8,000 円に変わります。適正な会費をお支払いいただきますようお願いします。

【振り込み先】

ゆうちょ銀行　口座番号＝00160-5-0045759　口座名義＝日本図書館情報学会

ゆうちょ銀行 019 店　口座番号＝当座 0045759　口座名義＝日本図書館情報学会

なお会費は，下記のサイトへログイン後，クレジットカードによる支払い（もしくは決済）が可能です。

https://service.gakkai.ne.jp/society-member/auth/settlement/JSLIS

ログイン後，「オンライン決済へ進む」を押していただき，クレジットカード情報をご入力いただき，「オンライン決済の実行」をクリックすると決済が完了します。どうぞご活用下さい。

（事務局）

会員情報変更・退会および会員情報管理について

住所，電話番号，所属先，メールアドレス等の変更については，学会ウェブサイトに掲載されているガリレオの会員情報管理システム（SOLTI）から直接変更していただくか，「会員情報変更」のページに掲載されている「会員情報変更申請書」にご記入いただき，事務局（office@jslis.jp）までメールでお送りください。

また会員種別の変更については，(1) 正会員から学生会員への変更の場合，当該年度の 4 月 20 日までに事務局に申請する必要があります。それ以降に申請しても，その年度は変更されません。(2) 学生会員から正会員への変更の場合，随時，事務局で申請を受け付けます。ただし，受付の時期によっては，正会員の権利の行使が制限されることがありますので，ご注意ください。また，受付後に年会費の差額を申し受けます。

なお，退会については特に書式はありませんので，電子メールにて，退会理由を併記のうえ，事務局（office@jslis.jp）までご連絡ください。毎年 3 月 20 日までにお申し出がない場合，翌年度末での退会となり，1 年分の会費請求が発生しますのでご注意下さい。

（事務局）

会報電子化と郵送対応について

会報 No. 187 でお知らせした通り，2022 年 4 月の発行の会報より，印刷体の発行を取りやめ，電子メールおよび会員情報管理システム SOLTI での提供を行っております。ただし電子メールによる受領が難しい会員のために，希望者については電子体から印刷体をコピーで作成し，郵送する取り組みを実施しております。

郵送を希望される方は以下の宛先に郵送もしくは電子メールで「会員氏名」,「郵送先郵便番号および住所」以下の 2 点をご連絡ください。郵送については電子体の完成から 1 週間程度で到着するように手配いたします。申し出があった直近発行の号から，年度内発行の最後の会報までを郵送いたします。年度を超えて郵送希望をされる場合には再度申し出をお願いいたします。

会員の皆様には，会報が確実に受け取れるよう正確な電子メールアドレスの登録をお願い申しあげます。またご不明な点がありましたら，以下のメールアドレスもしくは宛先までご連絡ください。

〒182-8525　東京都調布市緑ヶ丘 1-25
白百合女子大学今井福司研究室内　日本図書館情報学会総務委員会
somu@jslis.jp
（総務委員会）

## 学会受領資料

紙幅の都合により，図書のみ記載しております。（編著者名の五十音順）

- 新藤 透 著『古代日本に於ける「図書館」の起源』樹村房，2022
- 吉井 潤 著『公立図書館における電子図書館サービスの現状』樹村房，2022
- Rei Miyata; Masaru Yamada; Kyo Kageura eds. *Metalanguages for dissecting translation processes.* Routledge, 2022

会員の皆さまが図書館情報学関係の著作を刊行された際には，可能であれば事務局（相模女子大学金井研究室）まで 1 部お送りいただければ幸いです。書評対象文献の選定ならびに学会賞選考の際の参考とさせていただきます。

（事務局）